

横浜市庁舎建設タイムズ

第9号

令和元年9月

～高さ約20mの吹き抜け空間となるアトリウムが姿を現しました～

発行：横浜市総務局新市庁舎整備担当、建築局新市庁舎整備担当
作成編集協力：竹中・西松建設共同企業体



建物の完成に向けて各棟では内装・設備工事が、屋外では外構工事が急ピッチで進められています。

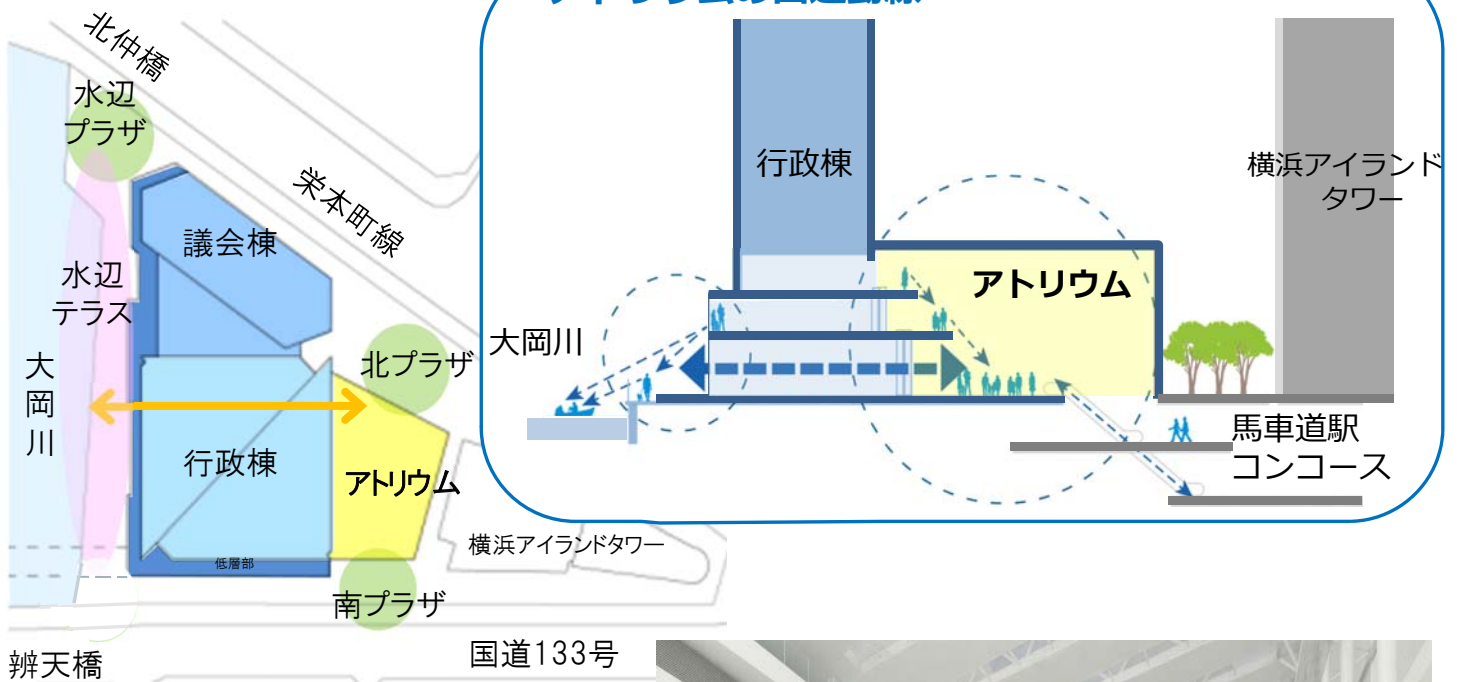
計画のポイント

アトリウムの計画

賑わいと活力を創出する低層部の核となる空間

市民の憩いの場となるアトリウムは、横浜アイランドタワーと行政棟との間に配置され、地下鉄馬車道駅の地下2階からエスカレーターで直接アトリウムにアクセスできます。また、アトリウムから大岡川の水辺まで空間が連続しており、低層部の核となります。

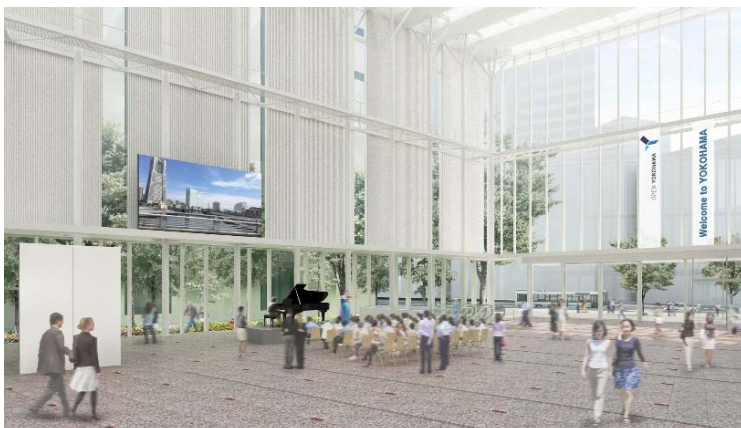
アトリウムの回遊動線



アトリウムは1階から3階まで吹き抜けており、晴れた日にはガラス張りの天井や壁から光がそそぐ開放的な空間となっています。また、2、3階からも、アトリウムで開催されるイベントを見ることができます。



アトリウム南側からの眺め



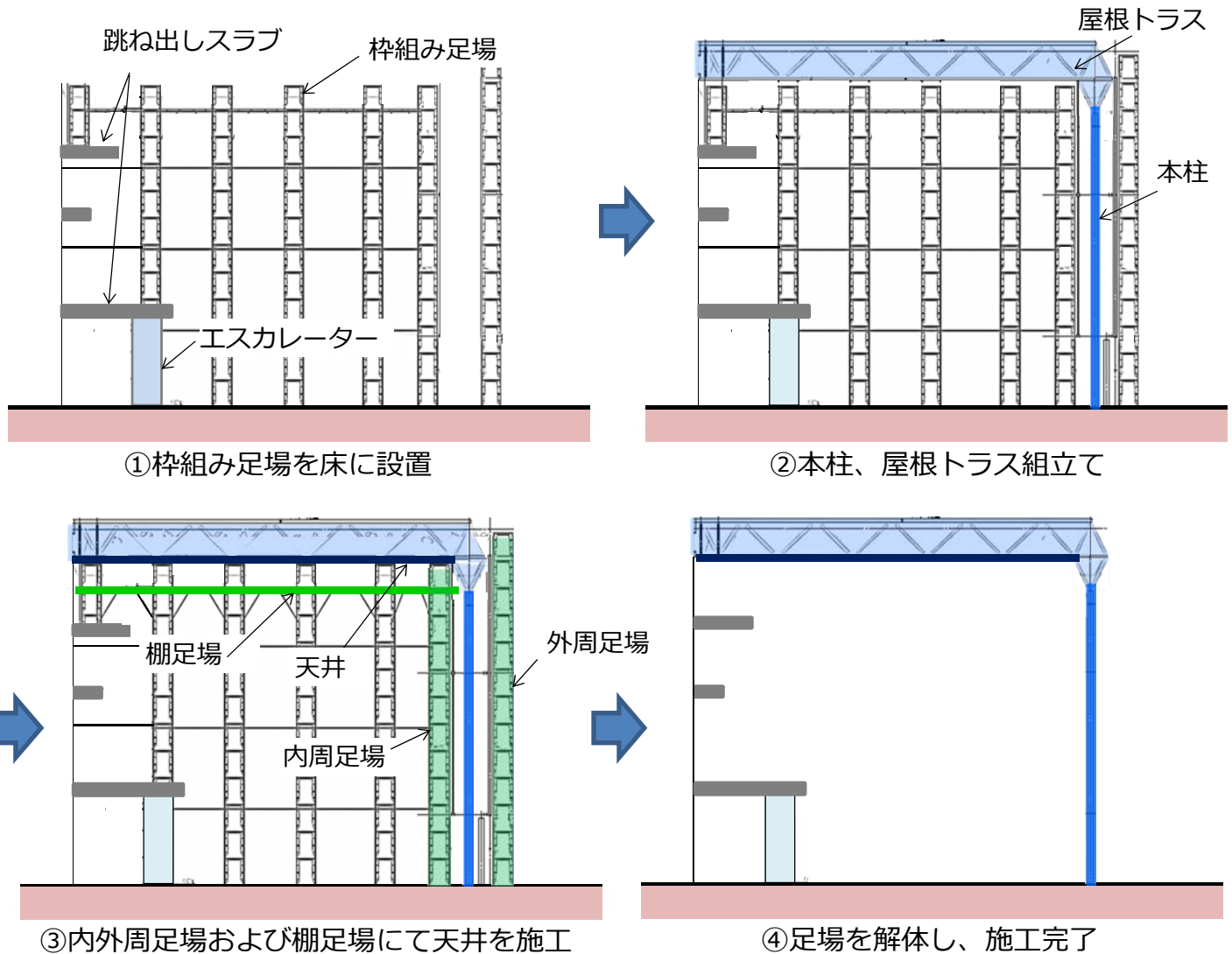
アトリウム北側からの眺め

アトリウムには270インチの大型モニターを設置しており、パブリックビューイングでは迫力満点のスポーツ観戦などが楽しめます。また、イベント用の横断幕を掲げることができるボタンや、ハイスペックな音響・照明機材を揃えています。

アトリウムの足場は「枠組み足場受け工法」

アトリウムの屋根や柱は「枠組み足場受け工法」で足場を組んで施工しています。枠組み足場を床に設置し、屋根や柱を施工した後、棚足場を組んで天井を施工していきます。

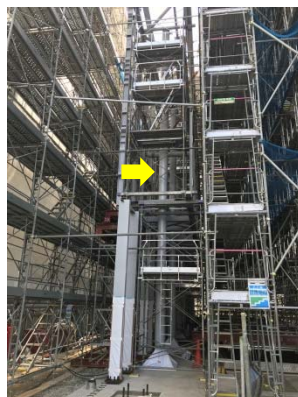
現場では、工事が進み、内外の足場が一部解体され、アトリウムの全貌が見えつつあります。



注) 本手順図は工法をわかりやすく説明するため、一部省略しており実際の施工とは異なる部分があります。



足場の組立て



本柱の設置



棚足場（屋根トラス下部）

■ 施工状況写真①



建物全景（北東側より）

■ 施工状況写真②



アトリウム棟外観（南面）



議会棟外部足場解体

8月に受電しました

令和元年8月8日に建物が無事に受電しました。当日は電気主任技術者の合図とともに受電が開始され、特別高圧盤、高圧盤、低圧盤へと順々に電気が流れ、最後は電気室に灯りがともりました。



合図とともに特別高圧盤へ受電開始



高圧盤①に電気が流れる



高圧盤②に電気が流れる



低圧盤に電気が流れ電気室の照明が点灯



受電後の電気室にて

「受電」って何？

敷地外の送電線を通じて、電力会社から初めて建物内に電気が送られてくることです。

～お問い合わせ窓口～

横浜市総務局総務部管理課新市庁舎整備担当

建築局公共建築部施設整備課新市庁舎整備担当

〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1横浜アイランドタワー17階

E-mail: so-chosyaplan@city.yokohama.jp TEL: 045-633-3912 FAX: 045-664-2501

URL: <http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kanri/newtyosya/>

次号以降も現場の状況をお伝えします。
お楽しみに！